



痴漢エゴイズム

某所某駅
毎日同じ時間に同じ車両
に乗る制服姿の女がいる
規律に縛られたお嬢様だろう
前々から目をつけていたが
今日決行してやろうと思っている

今では珍しい綺麗な黒髪の
ロングヘアーの子だ
早く触ってやりたい

ザッ

イェー

ザッ

いつも通り入り口の横のところに
乗り込んだようだ
ここまでは予定道理

今日も車内は満員だ
少しぐらい触れても
気付かれないはずだ

ザッ

ザッ



軽く尻を触ってみる
特に反応はないようだ

ただの揺れによる
接触だと思っ
ている
のだろうか

さわ



調子にのって尻の感触を
味わっていたら
気付かっていたようだ

一瞬しまったと
思ったがどうやら声を
出す様子もない

我慢して耐えているようだ
これは逆にチャンスだ

ビクン

さわ

さわ



怖くて小刻みに震えてるようだ
これは良い
このまま次の駅まで
好き放題にしてやろう

スカートをたくし上げる
一瞬嫌がる素振りを見せたが
問題なさそうだ
恥ずかしくて誰かに見つかるのを
避けているようだ

ストル

これは絶好のカモだ



やはり若い娘の体は柔らかい
手に吸い付くようだ
陰毛も薄いようだ

さつと男に触れたことも
無いだろうし
ましてやこのような事を
されるなんて夢にも
思わなかっただろう

嗜虐心を
くすぐらせてくれる
何処まで我慢できるかな？

クチュ
イチュ



パンツと尻の間に
自分のモノを挟みこむ

尻の柔らかさとパンツの柔らかさを
味わえるこの行為

女は今にも泣きそうになるが
どうすることもできないようだ

気持ちよすぎて
このまま果てて
しまいそうだ

最近の女はどいつもどいつも
発育が良い
下着もそれなりのものを
つけてやがる

スル

こいつも随分豊かな
胸してるようだ
まだ乳首もピンクで
人に晒した事もないんだらうな



年に不相応な胸の大きさを
揉み応えがある
怖いのか大声で叫ぶ心配も無い

凄い柔らかさだ
きつと良い暮らしをしてるんだろう
そう昨日まではな

もうこいつは俺のオモチャだ

ムニ





いつまでも声を聞かずに
我慢されていると
今度はそれを破って
やりたくなって来た

何処まで
我慢できるかな？

もってきたローターを
無理やり突っ込んでやった
こんなものをいれるのも
初めてだろうが
どんな気分なんだろうな





いきなり強めで
動かしてやった
一瞬声が漏れたが
我慢してるようだ
そんな顔がより
嗜虐心を誘う

カチ

フ
フ
フ
フ
フ

怖くて震えてるだけじゃ
誰も助けてくれない
だるうに
社会の厳しさってものを
教えてやるのもいいだろう

誰にもばれないように
下半身を密着させる

ブル

ブル

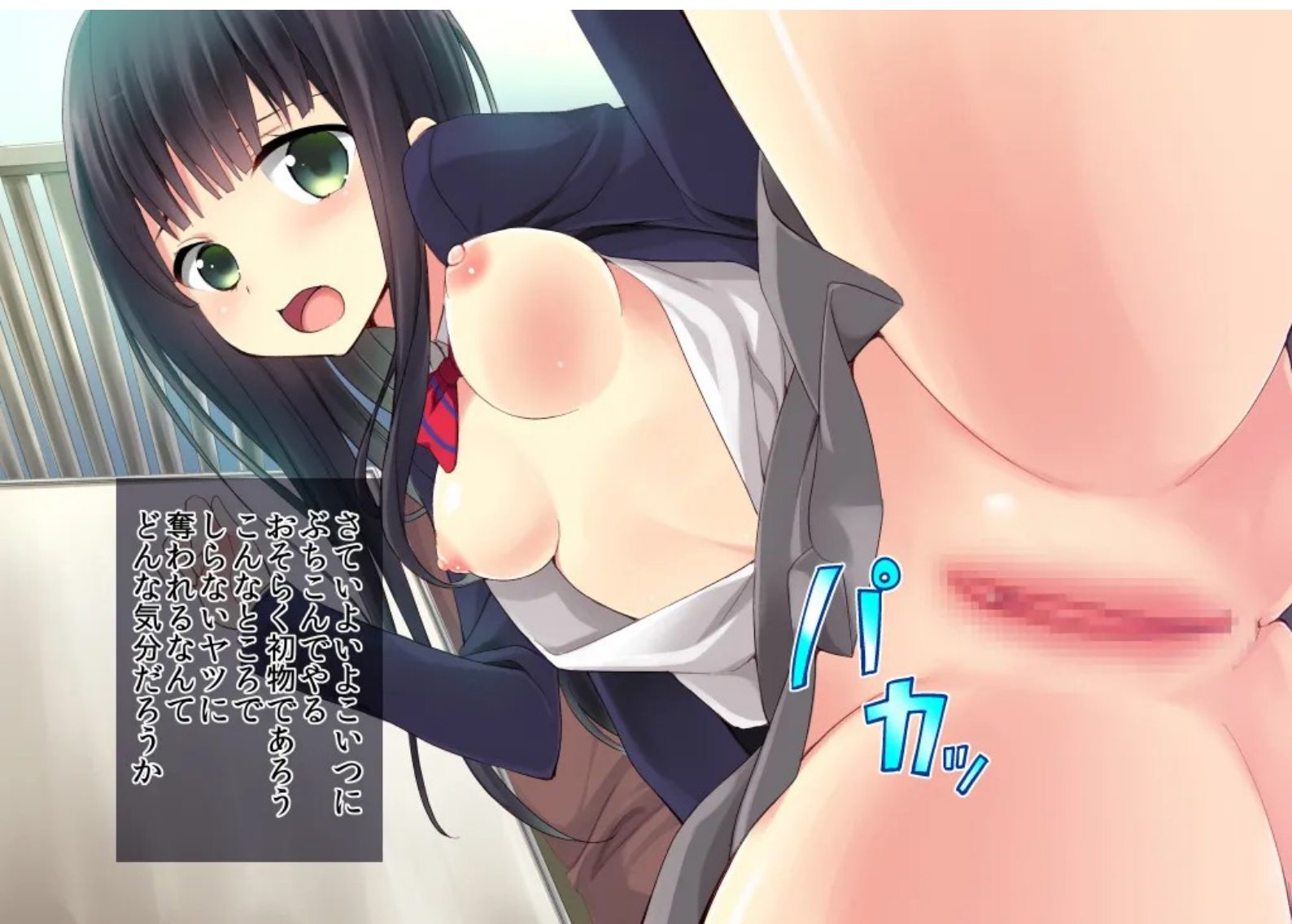


閉じてる太腿に
ペニスを差し込んでやる
凄いスベスベしていて
気持ちが良い
高級なダッチワイフみたいだ

気持ちよすぎてこのまま
果ててしまいたいそうになるが
まだもったいない
まだ終わらすには早い

ニル、
ニル、
ニル、





さていよいよこいつに
ぶちこんでやる
おそろく初物であろう
こんなところで
しらないヤツに
奪われるなんて
どんな気分だろうか



ヌ。フ。フ。フ。...

さすがにきつい
腰を反らしながら
挿入っていくのを防ごうと
してるようだが
無駄な抵抗だ
どんどん入っていく

壁に押し付けて
突き上げてやった
少しづつ声が漏れていたが
我慢してる表情に余計そそってくる



締め上げる力も強く
すぐに射精そうだ
たっぷりナカにだしてやる



ナマで一杯だしてやった
イク寸前
ナカで出すのはやめて…
と懇願していたようだが
そんなこと聞くわけがない

それにしても終始
やりやすい女だ
このままで終わらすのは
もつたいない



ちように良い
汚れた肉棒を口で
綺麗にしておこう

顔を反らし
口に入るのを拒んでいたが
無理やり突っ込んでやる

腰が抜けて座り込んで
涙目でこちらを
見上げている

ブル

ブル



噛まれないように
気をつかないながら
無理やり喉奥に
抽送してやる

あまりにも口の中が
気持ちよくて
また興奮してきてしまった

抱きかかえ
再び挿入してやる
何処にも捕まる所が
無いため
女もしがみついできて
奥まで挿入されていく

相変わらず締め付けていく
すぐにでもだして
しまいそうになる

女の中を俺の精子で
みたしてやる

スッポ

ズッポ

今度は少しでも多く
中に出し尽くしてやった

もう諦めているのか
ほとんど抵抗もしない

いつもより
沢山の量を射精した
こんなチャンスは
二度とないだろうが

完全に満足した

ビュク

ドブ



駅についたようだ

安心していただけようだが
放って置いて下車した

この後発見されて
どのようなことになったか
次の変質者に
姦されでもしたか

そう考えると
また興奮してきた



某所某駅
毎日同じ時間に同じ車両
に乗る制服姿の女がいる
規律に縛られたお嬢様だろう
前々から目をつけていたが
今日決行してやろうと思っている

今では珍しい綺麗な黒髪の
ロングヘアーの子だ
早く触ってやりたい



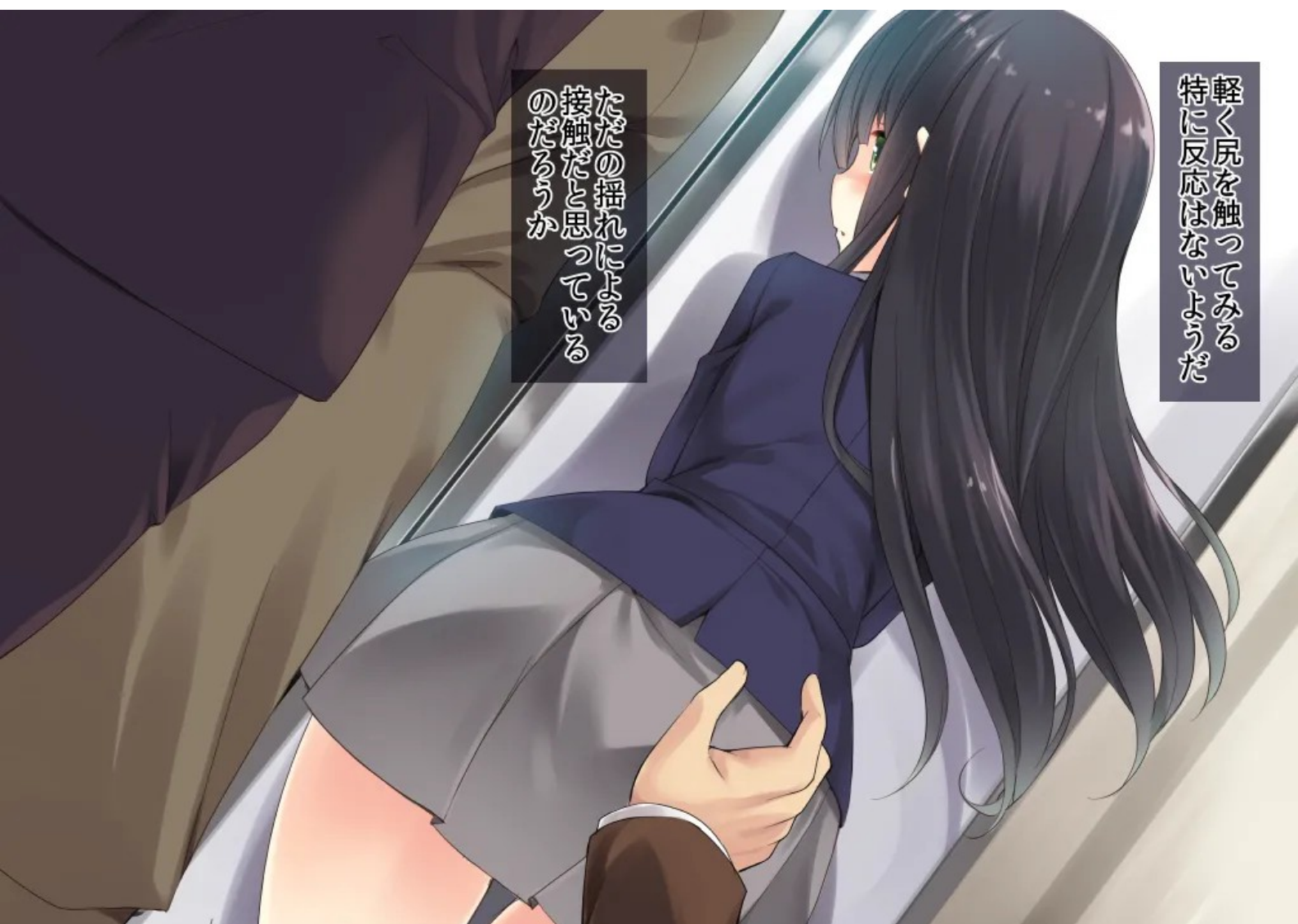


いつも通り入り口の横のところに
乗り込んだようだ
ここまでは予定道理

今日も車内は満員だ
少しぐらい触れても
気付かれないはずだ

軽く尻を触ってみる
特に反応はないようだ

ただの揺れによる
接触だと思っ
ている
のだろうか



調子にのって尻の感触を
味わっていたら
気付かれていたようだ

一瞬しまったと
思ったがどうやら声を
出す様子もない

我慢して耐えているようだ
これは逆にチャンスだ



怖くて小刻みに震えてるようだ
これは良い
このまま次の駅まで
好き放題にしてやろう

スカートをたくし上げる
一瞬嫌がる素振りを見せたが
問題なさそうだ
恥ずかしくて誰かに見つかるのを
避けているようだ

これは絶好のカモだ



やはり若い娘の体は柔らかい
手に吸い付くようだ
陰毛も薄いようだ

きつと男に触れたことも
無いだろうし
ましてやこのような事を
されるなんて夢にも
思わなかっただろう

嗜虐心を
くすぐらせてくれる
何処まで我慢できるかな？





パンツと尻の間に
自分のモノを挟みこむ

尻の柔らかさとパンツの柔らかさを
味わえるこの行為

女は今にも泣きそうになるが
どうすることもできないようだ

気持ちよすぎて
このまま果てて
しまいそうだ

最近の女はどいつもこいつも
発育が良い
下着もそれなりのものを
つけてやがる

こいつも随分豊かな
胸をしてるようだ
まだ乳首もピンクで
人に晒した事もないんだらうな



年に不相応な胸の大きさを
揉み応えがある
怖いのか大声で叫ぶ心配も無い

凄い柔らかさだ
きつと良い暮らしをしてるんだらう
そう昨日まではな

もうこいつは俺のオモチャだ





いつまでも声を聞かずに
我慢されていると
今度はそれを破って
やりたくなって来た

何処まで
我慢できるかな？

もってきたローターを
無理やり突っ込んでやった
こんなものをいれるのも
初めてだろうが
どんな気分なんだろうな



いきなり強めで
動かしてやったが
一瞬声が漏れたが
我慢してるようだ
そんな顔がより
嗜虐心を誘う





怖くて震えてるだけじゃ
誰も助けてくれない
だるうに
社会の厳しさってものを
教えてやるのもいいだらう

誰にもばれないように
下半身を密着させる



閉じてる太腿に
ペニスを差し込んでやる
凄いスベスベしていて
気持ちが良い
高級なダッチワイフみたいだ

気持ちよすぎてこのまま
果ててしまいたい感じが
まだもつたない
まだ終わらすには早い



さていよいよこいつに
ぶちこんでやる
おそろく初物であろう
こんなところで
しらないヤツに
奪われるなんて
どんな気分だろうか

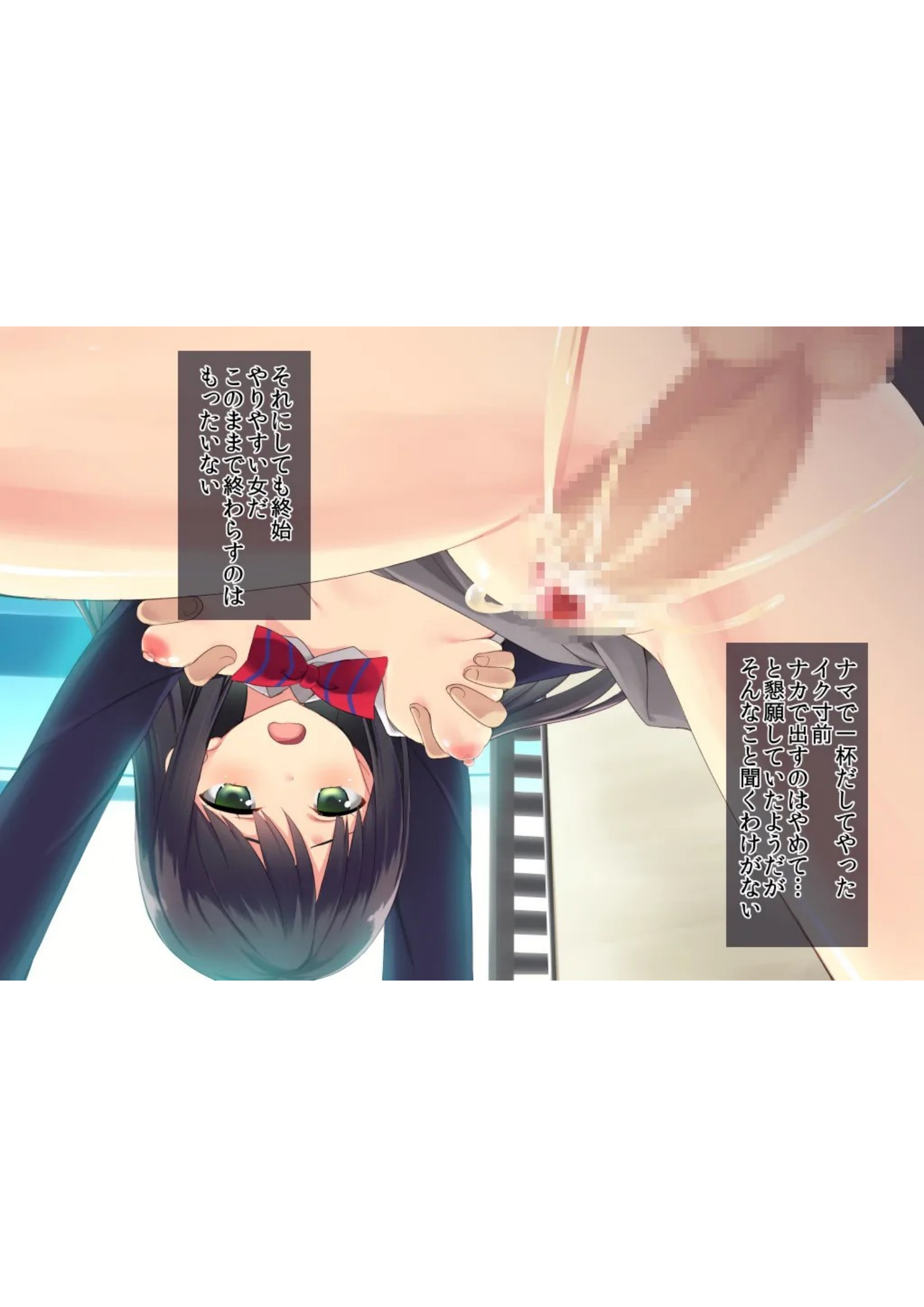


さすがにきつい
腰を反らしながら
挿入っていくのを防ごうと
してるようだが
無駄な抵抗だ
どんどん入っていく



壁に押し付けて
突き上げてやった
少しづつ声が漏れていたが
我慢してる表情に余計そそってくる

締め上げる力も強く
すぐに射精そうだ
たっぷりナカにだしてやる



ナマで一杯だしてやった
イク寸前
ナカで出すのはやめて…
と懇願していたようだが
そんなこと聞くわけがない

それにしても終始
やりやすい女だ
このままで終わらすのは
もつたいない



ちように良い
汚れた肉棒を口で
綺麗にしておこう

顔を反らし
口に入るのを拒んでいたが
無理やり突っ込んでやる

腰が抜けて座り込んで
涙目でこちらを
見上げている



噛まれないように
気をつかないながら
無理やり喉奥に
抽送してやる

あまりにも口の中が
気持ちよくて
また興奮してきてしまった



抱きかかえ
再び挿入してやる
何処にも捕まる所が
無いため
女もしがみついできて
奥まで挿入されていく

相変わらず締め付けていく
すぐにでもだして
しまいそうになる

女の中を俺の精子で
みたしてやる

今度は少しでも多く
中に出し尽くしてやった

もう諦めているのか
ほとんど抵抗もしない

いつもより
沢山の量を射精した
こんなチャンスは
二度とないだろうが

完全に満足した



駅についたようだ

安心していただけようだが
放って置いて下車した

この後発見されて
どのようなことになったか
次の変質者に
姦されでもしたか

そう考えると
また興奮してきた





















